

第1回スポーツ推進審議会における委員意見要旨

(標津町教育長 山崎委員)

- ・ **スポーツ参画人口の減少が懸念**
(千歳市教育長 佐々木委員)
- ・ **地域のスポーツ関係者は減少、スポーツ参画人口の拡大は重要課題**
(北海道スケート連盟 千葉委員)
- ・ **スポーツの底辺(裾野)の減少は危機的状況**
少子高齢化など、スポーツを取り巻く環境や社会状況の変化に対応する骨格づくりが必要
(北翔大学 増山委員)
- ・ **北海道の課題は、少子高齢化、広域性ゆへの移動制限に特徴あり。**
スポーツ人口の拡大を図る上で、交通(移動)経費、地方の指導者や施設管理に係る有識者などの人材配置に関する支援制度が必要

(北海道中体連 中山委員)

- ・ **学校教育活動におけるスポーツ活動が地域の社会スポーツ活動にシフトしていく流れを踏まえた計画づくりを進めていただきたい。**
- ・ **スポーツの主体となる親しむ方々の視点に立った計画づくりが重要**

(北海道スポーツ推進委員協議会 小林委員)

- ・ **子どものスポーツの体験機会は重要。子どもたちのスポーツのする、みる、ささえる機会を拡充してほしい。**

(レクリエーション協会 星委員、北海道スケート連盟 千葉委員)

- ・ **ハード面の充実を図っていくべき**

(フットサルトップリーグ 小野寺委員)

- ・ **プロスポーツとの連携を表現すべき**
(北海道中体連 中山委員)
- ・ **スポーツの楽しみを広げていく上で、プロスポーツをみるということは重要**

北海道障がい者スポーツ協会 長田委員)

- ・ **冬季スポーツや自然とのふれあいなど、北海道ならではの地域特性を盛り込むことが大事**

(標津町教育長 山崎委員)

- ・ **パラスポーツは、共生社会のほか、地域振興、あるいは生涯スポーツの観点もあり得る、**

(北海道医療大 笠師委員)

- ・ **女性アスリートに対する支援(医学的な支援)について事業検討を要望**

(標津町教育長 山崎委員)

- ・ **セカンドキャリアは、安全・安心のほか、地域振興の観点もあり得る。**

(和寒町スポーツ協会 渡邊委員)

- ・ **道がコロナウイルス対策を牽引してほしい。**

(北翔大学 増山委員)

- ・ **今後の細かい部分の検討に当たっては、これまでと違うところを打ち出すことができる」とよい。**